

フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会

2021年1月29日(金)11:00-13:00(予定)

1. 分科会の委員について

2. 第25期における本委員会の進め方について

3. フューチャー・アースの活動、成果、今後の展望

➤ 国際的なFEのこれまでの主要な科学的成果 (安成委員) 5分

➤ 国際的なGRPへの日本からのかわりの実例紹介

□ 氷見山幸夫先生：IHDPがFE傘下になってどう変わったのか 5分

□ 国際的なKANへの日本からのかわりの実例紹介 (各5分)

● 植松光夫先生(海)、谷口真人先生(FEW NEXUS)、福土謙介先生(都市)

➤ FE日本委員会の現状と今後の展望 (江守委員) 5分

➤ 世界のFEは今後何をどのように目指し日本はどのようにするのか(春日委員) 10分

4. 日本におけるフューチャー・アース研究の推進について

➤ 日本の科学者によるFE研究の推進について (グループ討論1時間)

5. その他

司会: 春山
書記: 幹事

国内連携分科会について

- 24期で国内連携分科会は日本委員会の運営用だった。25期では、企画委員会的に運営しつつ、日本委員会の在り方を議論。
 - ✧ 比較的少人数で議論できる機会をどうやって確保するか。
- メンバー（会員＋幹事＋日本委員会）
 - ✧ 小林 傳司・大阪大学名誉教授
 - ✧ 高村ゆかり・東京大学未来ビジョン研究センター教授
 - ✧ 狩野 光伸・岡山大学副理事
 - ✧ 古谷 研・創価大学大学院理工学研究科教授
 - ✧ 沖 大幹・東京大学大学院工学系研究科教授
 - ✧ 春山 成子・三重大学名誉教授
 - ✧ 三枝 信子・国立研究開発法人国立環境研究所
 - ✧ 大手 信人・京都大学
 - ✧ 江守 正多・国立研究開発法人国立環境研究所
 - ✧ 福土 謙介・東京大学未来ビジョン研究センター
 - ✧ +外部特任連携会員(民間企業、NGO、…)
 - ✧ *ref.* 親委員会の特任連携会員：安成哲三、山本百合子、石井菜穂子

日本学術会議におけるFuture Earth関連の組織

機能別委員会
国際委員会(高村)

フューチャー・アースの国際的展開対応分科会

- ◆ 会議への派遣や関係者の招聘などFE外交
- ◆ 武内→福土委員長

分野別委員会
地域研究委員会

地球環境変化の人的側面(HD)分科会

- ◆ FE-HDの総括
- ◆ 前期氷見山委員長

分野別委員会
環境学委員会(浅見)

FE・WCRP
合同分科会

- ◆ GRPやKANの総括
- ◆ 中村→三枝委員長

分野別委員会
地球惑星科学委員会(田近)

フューチャー・アース
国内連携分科会

- ◆ FE日本委員会の運営とステークホルダーとの連携
- ◆ 前期武内委員長

課題別委員会
フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会(沖)

持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会

- ◆ 持続可能な発展のための教育と人材育成の推進
- ◆ 前期氷見山委員長

- ◆ 日本におけるFE研究推進の大方針の議論。
- ◆ 安成委員長→沖

※ 24期では「フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会」と「フューチャー・アース国内連携分科会」は合同で開催

25期のFE連携推進委員会について

- 日本学術会議の中で、より様々な分野の専門家との熟議により、FEに関連する新たな研究活動が生まれればよいのではないかと。
 - ✧ 研究の活性化には、資金、組織、人事が有効かもしれないが、議論を通じて新たなアイデアを生み出し、共有し、結果としてFE関連研究が推進される様にするのが当委員会の役割ではないかと。
- 25期のFE推進連携委員会の目標と活動
 - ✧ 3年間で学術コミュニティと社会に対してどういう貢献をしようとするのか
 - ✧ 最終成果の形として何を想定するのか
 - 報告書、提言、シンポジウム、プロジェクトの立ち上げ、組織の立ち上げ、…
- やり方案(例)
 - ✧ 分科会やワーキンググループにわける？ 合宿をする？
 - ✧ 2時間といわず、延々議論する機会を設ける？
- 外部/内部の有識者ヒアリング
 - ✧ 文化人類学者、社会学者、文学者、…??
 - ✧ Funding Agencyと学術コミュニティとの間の熟議？

グループ討論の構想

- 💧 1グループ4名程度に分けるZoomを設定する。
- 💧 ブレイクアウトを30分、5～6チーム×5分報告で30分
 - ❄️ 【A】25期のFE推進連携委員会の目標と活動 (Goal)
 - 当委員会が学術コミュニティと社会に対してどういう貢献をしようとするのか
 - 最終成果の形として何を想定するのか
 - 活動方法の案 (分科会やWG? 外部有識者ヒヤリングの実施? ほか)
 - ❄️ 【B】今後推進すべきFE的な研究について (Theme)
 - 将来性、発展性のあるテーマ、喫緊の課題
 - 文理融合、社会と学術との連携、FE的研究のFE的組織化
 - SDGsとFE、FEの研究構想を国際的に提案する枠組み、ほか
 - ❄️ 【C】日本におけるFEコミュニティの連携強化に向けて (means)
 - どうすれば一体感を得られるか? 魅力的なFEコミュニティ(FE国内委員会)
 - (JpGU等での)定期的なセッション? 文理融合 + 社会協創の場は?(SCJ?)
 - 多分野協創のインキュベーションの場を提供できるか?